



小鹿建第 32 号  
平成19年4月18日

国土交通省道路局長 様

小鹿野町長 関 口 和 夫



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（回答）

標記の件につき下記のとおり回答いたします。

記

1 今後の道路政策や道路の整備・管理について

◎【道路の現況と課題】

本町の交通網は、鉄道が通っていないため、自動車・バス等が重要な交通手段となっており、道路は最も必要な交通網となっております。

本町には、入間市から長野県茅野市に至る一般国道299号が町の主要部を縦断し、これに主要地方道皆野両神荒川線、皆野荒川線をはじめ、一般県道小鹿野影森停車場線、藤倉吉田線、下小鹿野吉田線、両神小鹿野線、薄小森線の県道7路線が国道299号を中心に幹線道路網を形成しています。これらの幹線道路網に町道が接続し、町民が生活するための利便性・安全性の向上に重要な役割を果たしています。

しかし、本町の道路網は、幹線道路も含め未改良部分が多く、道路整備の遅れがめだっている状況にあり、地形的制約や交通条件の改良に向けて、引き続き整備をする必要があります。

◎【整備・管理の考え】

1) 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

秩父地域は、国道140号が雁坂トンネルが開通し山梨県とつながったこ

とにより、観光・物流面で車の交通量が増え、秩父方面を通過する車両が多くなり、秩父市内が慢性的渋滞となっております。

この秩父市内の渋滞解消と秩父地域の活性化、観光及び産業振興を図るためにも、西関東連絡道路（国道140号バイパス）の全線開通は早期実現しなければならない課題であります。

それに伴い、秩父市内の渋滞解消を図るためにも、国道299号の整備、主要地方道皆野両神荒川線、皆野荒川線の整備を併せて促進し、秩父地域のアクセス網を整備する。

## 2) 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

西関東連絡道路を中心とした秩父地域を結ぶ広域幹線道路の整備、及び地域内幹線道路の整備することにより効果的、機能的な交通ネットワーク網の形成を図る。

## 3) その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関するご意見

生態系、自然環境などに配慮した整備やユニバーサルデザイン化など、人に優しい安全で安心な道路の整備を図る。